

広島商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	現代文Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	1921001		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『新 探求現代文B』(桐原書店)、『常用漢字 ダブルクリア 三訂版』(尚文出版)。その他、必要に応じて配布する。				
担当教員	山下 航正				
到達目標					
<p>(1)文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。</p> <p>(2)鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的文章(詩歌、小説など)の創作をとおして、感受性を培うことができる。</p> <p>(3)読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。</p> <p>(4)現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用語、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	文学作品について、鑑賞の方法を理解し、実践できる。また、幅広い文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。		文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。		文学作品について、鑑賞の方法を理解できない。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解したり、作品の意義について意見を述べることができない。
評価項目2	鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的文章(詩歌、小説など)の創作をとおして、十分に感受性を培うことができる。		鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的文章(詩歌、小説など)の創作をとおして、感受性を培うことができる。		鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的文章(詩歌、小説など)の創作をとおして、感受性を培うことができない。
評価項目3	読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に積極的に生かすことができる。		読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。		読書習慣の形成をとおして感受性を培ったり、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができない。
評価項目4	現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用語、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を十分に深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を積極的かつ適切に活用して表現できる。		現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用語、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。		現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用語、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深めたり、その特徴を把握することができない。また、それらの知識を活用して表現することができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	現代文(評論、小説、詩等)や表現単元を通して、内容を文章に即して理解し、相手に自己を表現できるようになることを、目標とする。われわれ人間と「ことば」とは、決して切り離せないものである。事実、相手との意思疎通、知識・技術の獲得と提供、自身の思考、いわゆる「コミュニケーション」と言われる活動のいずれも、「ことば」を用いないものはない。そして、これら「コミュニケーション」活動はすべて、「理解」と「表現」とを土台としている。評論や小説、随想といった「表現」に触れ、その内容を適切に「理解」すること。また、相手に「理解」されやすい「表現」を心がけていくこと。授業を通じて「コミュニケーションスキル」基礎力を養い、よき「理解」者・よき「表現」者となることのできるよう、意識的かつ意欲的な取り組みを期待したい。				
授業の進め方・方法	「授業計画」を参照のこと。				
注意点	<p>(1) 随時、読書タイムや漢字小テストを行う。</p> <p>(2) 読書感想文などの文章表現、読書メモ等の課題を出すことがある。</p> <p>(3) 板書記録用のノートまたはレズリーフの他に、プリント保管用のファイルや国語辞典、漢和辞典を持参することが望ましい。</p> <p>(4) 学習内容についてわからないことがあれば、積極的に質問すること。</p>				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	村上春樹「自己とは何か(あるいはおいしい牡蠣フライの食べ方)」	(1) 段落相互の関係を把握しつつ、内容を丁寧に読みとる。 (2) 内容を踏まえ、論理展開とそれに対する筆者の工夫を把握する。 (3) 著者のものの見方・感じ方・考え方を自身に引きつけて捉え直す。	
		2週	同上	同上	
		3週	同上	同上	
		4週	江國香織「晴れた空の下で」	(1) 物語内容(場面展開)を丁寧に読み取る。 (2) 語りを通して、登場人物の心情や関係を捉える。 (3) 小説の語りを通して、「語る」という行為への眼差しや、「表現」への意識を持つ。	
		5週	同上	同上	
		6週	同上	同上	
		7週	同上	同上	
		8週	前期中間試験 答案返却・解説		

後期	2ndQ	9週	鷲田清一「いのちは誰のものか？」	(1) 段落相互の関係を把握しつつ、内容を丁寧に読みとる。 (2) 内容を踏まえ、論理展開とそれに対する筆者の工夫を把握する。 (3) 著者のものの見方・感じ方・考え方を自身に引きつけて捉え直す。
		10週	同上	同上
		11週	同上	同上
		12週	同上	同上
		13週	宮沢賢治「永訣の朝」	(1) 語句に注目して背景や情景を捉える。 (2) 作品に詠み込まれた「ものの見方」を理解し、味わう。 (3) 作者の他の作品との関連について知る。
		14週	同上	同上
		15週	瀬戸内に関わる文学とプレゼンテーション（グループ研究発表）	(1) グループごとにテーマを設定して作品を分析し、資料としてまとめ、提示（発表）することができる。
	16週	前期期末試験 答案返却・解説		
	3rdQ	1週	瀬戸内に関わる文学とプレゼンテーション（グループ研究発表）	(1) グループごとにテーマを設定して作品を分析し、資料としてまとめ、提示（発表）することができる。 (2) 質疑応答から、聴衆としてふさわしい態度も身につけることができる。 (3) 郷土に関わりのある作家・作品を扱うことにより、地域社会に対する関心や理解を深める。
		2週	同上	同上
		3週	同上	同上
		4週	同上	同上
		5週	短歌（教科書掲載を中心に）	(1) 語句に注目して情景を捉える。 (2) 様々な表現技法について理解する。 (3) 作品に詠み込まれた「ものの見方」を理解し、味わう。
		6週	同上	同上
		7週	同上	同上
		8週	後期中間試験 試験返却・解説	
4thQ	9週	村上陽一郎「科学者とは何か」	(1) 段落構成の把握を通じて、論の展開を押さえ、文章の主題を捉える。 (2) 難解な語句、指示語、表現の細部に注目しながら、丁寧に読み解く。 (3) 筆者がいう「学問」や「科学」の捉え方について、自身に引きつけて考察する。	
	10週	同上	同上	
	11週	同上	同上	
	12週	同上	同上	
	13週	村上春樹「鏡」	(1) 物語内容（場面展開）を丁寧に読み取る。 (2) 語りを通して、登場人物の心情や関係を捉える。 (3) 小説の語りを通して、「語る」という行為への眼差しや、「表現」への意識を持つ。	
	14週	同上	同上	
	15週	同上	同上	
16週	学年末試験 試験返却・解説			

#### 評価割合

	試験	小テスト	レポート・課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	20	0	0	0	100
基礎的能力	70	10	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0